



# 新緑

しんりよく



【発行】社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp>



## 平成30年 新年を迎えて

新緑福祉会 理事長 平田 健次

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかに新年をお迎えになったことと思います。

本年も利用者、保護者、職員の皆様に寄り添った法人運営をしまっている所存でございます。どうぞよろしく願いいたします。

平成30年、西暦2018年は新緑福祉会にとって、またその母体である手をつなぐ育成会にとって画期的な一年になると思われます。

しあわせの村に建設中の重度高齢化対応のグループホーム、「えみのき(咲の樹)」の運営が始まります。新緑福祉会にとっては、平成15年3月の入所更生施設「ここはの家」の開設以来、支援センター・小規模グループホームを除きますと、15年ぶりの新規施設の開設になります。また手をつなぐ育成会にとっても平成29年度事業計画のスローガン「取り組もう親なき後は親あるうちに」を実現する第一歩になります。

「えみのき(咲の樹)」の建設については、神戸市ご当局より、土地の提供、建設費の補助等多大のご援助をいただき、また手をつなぐ育成会、新緑福祉会後援会、各保護者会より多大なご協力をいただき、順調にすすんでおります。誠に有難うございます。

しかしながら、重度高齢化対応のグループホームというまったくの新規の事業である関係から運営においていくつかの課題を抱えております。その一つ

は本事業に係る収支であり、次に支援職員の確保であります。さらには、具体的な事業所運営方法です。これらの課題解決のため、法人・職員が一丸となって検討を進めております。

昨年、平成29年は、知的障害者施設において事件・事故が多発しました。

事故を起こした職員個人の責任は当然のこととして、施設運営する法人の質・責任が問われていると考えており、法人役員一同、我が事として対応策を考えております。

また近々に発生すると言われている東南海地震等自然災害への対応も考えていく必要があると思えます。通所施設での避難所対応です。当然のこととして職員も被災しております。被災から免れた職員、保護者で避難所運営ができれば、障害者が慣れた場所、職員のもとで避難所生活が可能になります。

新緑福祉会として、各種課題を抱えておりますが、法人理事、評議員、監事が利用者、保護者、職員と一体になれば、どのような困難、課題にも対応出来ると思っております。

本年も、利用者のため、その保護者のため、ここで、働く職員のためさらにはすべての知的障害者のため努力してまいります。

どうぞご協力、ご尽力よろしく申し上げます。



## 「やまなみ工房」施設見学



ワークセンターいわや 保護者会 会長 関 美江

新年を迎え、気持ちも新たに過ごしております。ワークセンターいわやの保護者会も新しい年を迎え色々と取組んで行ければと思います。

さて、昨年の夏も終わりの頃、ワークセンターいわや保護者会の文化・研修会で滋賀県甲賀市にある「やまなみ工房」に施設見学に行きました。緑豊かな自然の中にある、ユニークでアートを中心に利用者個々の持ち

味を最大限に生かした事業所です。楽しく素晴らしい見学会になりましたのでご紹介させていただきます。Eテレを始め各メディアも注目する事業所です。機会がありましたらぜひ見学に行ってみては如何でしょうか？

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

(参考) やまなみ工房 〒520-3321 滋賀県甲賀市甲南町葛木 872 電話 0748-86-0334 ウェブサイト <http://a-yamanami.jp>

### 新緑福祉会後援会 バザー活動報告

### 第28回 こうべ福祉・健康フェア(しあわせの村)

グリーンホーム平成 田中 伸布子

実施日時：平成29年10月1日(日) 10:00~16:00

売上報告：84,760円 参加者：13名

活動報告：

当日はお天気も良く、各施設から寄付して頂きました日用品、古着などを販売しました。出店団体は減っている気もしましたが、「来たよ。」と言って楽しみに待っていてくれる顔なじみのお客さんもいます。



長く続けていればの成果かなとも思います。

又、観光で訪れていた外国の方にもたくさん買って頂いたようです。

当日、お手伝い下さった保護者の皆様、又、支援して下さいました法人の職員の方々ありがとうございました。

一日お疲れ様でした。





## 新緑福祉会6施設合同行事

新緑福祉会合同行事実行委員会  
当番園 玉津むつみの家  
施設長 佐々木 信一

11月25日土曜日、長田区にある「神戸常盤アリーナ(兵庫県立文化体育館)」において、第19回新緑福祉会施設合同行事『新緑 Free ぴっく '17』を開催しました。当日は、神戸市保健福祉局障害福祉部就労支援担当部長狩野りか様をはじめと多くのご来賓の方にご臨席を賜りありがとうございました。また、利用者、ご家族の方、夏休み親子体験事業を通じて参加されたご家族、各施設のボランティア、職員を含め330余名の参加を頂きました。



ボランティアとして、ご協力くださいました「兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校」をはじめ、その他学校の皆様には紙面を借りましてお礼申し上げます。

事故やけががなく、楽しい時間、笑顔溢れる時間を共に過ごせましたこと、今後につながるものと感謝しております。ありがとうございました。



### ご参加いただきました皆様

#### ●ご来賓

神戸市保健福祉局障害福祉部就労支援担当	部長	狩野りか様	
神戸市保健福祉局障害福祉部障害者支援課	課長	三浦久美子様	
神戸市立青陽須磨支援学校 進路指導担当	教諭	有田信一様	・教諭 金子直子様
	教諭	坂口翔真様	
神戸市立いぶき明生支援学校 進路指導担当	教諭	柴田敦子様	・教諭 本田吉紀様
一般社団法人神戸市手をつなぐ育成会	副会長	伊藤和子様	
	専務理事・事務局長	古井豊様	
株式会社いくせい	総務課長	藤原民子様	
社会福祉法人神戸育成会ワークみくら	施設長	松宮満様	
新緑福祉会後援会	会長	竹山昭治様	

#### ●親子体験事業を通じて参加された方

兵庫県立神戸特別支援学校 2組(4名) ・ 神戸市立青陽東養護学校 2組(6名)  
神戸市立青陽須磨支援学校 1組(2名)

#### ●ボランティア

兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校介護福祉コース 生徒14名  
神戸女子大学・神戸親和女子大学



### 兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校 ボランティア感想 (W.Aさん) ❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️❄️

今回はボランティアに参加させていただき、ありがとうございました。

障がい者の方の体育会は初めて参加するので少し緊張しましたが、ワークセンターいわやの職員、利用者の皆様からとても優しく親切に接していただいたので、緊張がほぐれました。

体育会はワークセンターいわやのチームに入れさせていただき、玉入れ、変身、借り物競争等に参加し、利用者様とハイタッチ等をして、とても楽しく貴重な日を過ごせました。

「空」の太鼓グループさんの演奏の時、ある利用者様が「上手よね。好きよ～」と楽しそうに話してくれました。

今回の貴重な体験を、今後の介護に活かしていきます。ありがとうございました。





## 変わりゆく景色

グリーンホーム平成 施設長 竹本 繁弘



この30年間、我々が見てきた景色も大きく変化しました。

開村当初は、植えたばかりの細い木ばかりでしたが、歳月を重ねて成長し、森の様に生い茂る自然豊かな総合公園となりました。こうして、年々変わりゆく景色に加えて、平成と緑友のすぐ傍に、グループホーム「えみのき(咲の樹)」が、存在感を増してきました。法人の新規事業であるこのグループホームは、想像した以上に大きく、立派な木造の3つの建築物に、ほぼ同じ面積の平成と緑友が小さく見えてしまいます。新しい建物を目にした皆さんからは、「お家が出来よる。」と、楽しみにされる言葉が聞かれます。

誰もが歳を重ねるごとに生活の形も変わっていきますが、グループホーム「えみのき(咲の樹)」の誕生もそのひとつです。奇しくも平成開設30周年と時を同じくしてスタートを切る“えみのき”。昨年3月の移植工事から約1年が過ぎ、このしあわせの村に、たくさんの方々のお力で、新しい住まいが開設を迎えようとしています。



## 中央区自立支援協議会のとりくみ

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 所長 田中 知恵子



神戸市では、各区に自立支援協議会があり、各支援センターがその事務局を担っています。自立支援協議会は、福祉・医療・教育・労働・地域など様々な関係団体が集まり、障がいのある方々が、地域で安心して豊かに暮らせる街づくりを目指して、情報共有や課題解決を目指すものです。

当区では、H20年3月に「中央区自立支援協議会」を設立し、現在は「防災」「権利擁護」「学習」「販売促進」の4部会と「アフターワークの会」「中央区灘区地域医療連絡会」「地域生活支援連絡会」「事業所紹介プロジェクト」「相談支援連絡会」の5連絡会があります。

H29年12月には、啓発活動として障害者週間中(12月3日～9日)に中央区役所で区内事業所の自主生産品を販売したり、赤い羽根の募金活動に協力しました。また、18事業所の職員・利用者(約250名)がグリーンボランティアとして近隣の清掃活動を行いました。今年は、神戸医療福祉専門学校や神戸女子大学の学生もボランティアとして参加してくれました。障がいのある方々が、地域の一員としてボランティア活動を行うことを通じて、地域の方にも障がいのことを知っていただきたいと考えています。

支援センターの業務は、対象者個々への相談支援業務と共に地域づくりがあります。地域に小さな種をまき、地域の関係機関と一緒に育てていき、障がいの有無にかかわらず、みんなにとって住みやすい街づくりにつなげていきたいと思っています。





## 日帰り旅行 ～3コースから選択～

神戸市立ワークセンターいわや 副主任 上野 博己

「ワークセンターいわや」は、JR灘駅南側にあり障害福祉サービス事業所（生活介護：58名・就労継続支援B型：8名）で様々なプログラムを取り入れ、障がい者支援に取り組んでいます。

その中で、今年度はグループ別日帰り旅行を実施しました。内容は、①キッコーマン高砂コース（好古園と姫路城を見学・昼食は和食豪華御膳を堪能・キッコーマン高砂工場で醤油製造工程の見学）②グリコピア神戸コース（グリコピア神戸工場でポッキーなどお菓子の製造見学・昼食は神戸牛ランチを堪能、マリニピア神戸で買い物）③カップヌードル大阪コース（日清インスタントラーメン発明記念館で Myカップヌードル作り・昼食は炭火で豪快に焼き上げたステーキランチを堪能・伊丹スカイパークで飛行機の離発着を間近で見学）の3コースから選択をして、利用者ひとりひとりが、希望のコースへ行けるようにしました。

旅行の当日、各コースの現地では見学を楽しんでいて、その場を離れられない方もおられました。また、豪華な昼食では、いつもより早く完食をされたり、ライスのおかわりをされていたのが印象的でした。



ワークセンターいわやに戻ってくると、笑顔で「ただいま！」とお土産を見せてくれたり、「また、行きたい！」と熱い要望があったり、ご家族の方からは、「希望通りの所へ行けて満足していたよ！」と、ご意見を頂き、今回の企画は、利用者ひとりひとりがコースを自己選択して、日帰り旅行を楽しんでいただけたと感じています。

次回の旅行も、今年度より更に満足していただける企画と内容を提案して実施していきたいと思います。ワークセンターいわやの皆さん、楽しみにしていて下さいね！



## 新緑's kitchen

新緑の家（管理）栄養士 長瀧 晴美

朝はとなりのパン屋から流れてくるパンが焼ける香りの中で始まり、昼前になると給食調理の良い香りが利用者の食欲を刺激しています。毎朝、登所すると支援員と共に調理室に来るのが日課?の利用者さん数名。調理者と喫食される利用者さんとの距離が短いのが特徴です。

行事食や選択メニュー、お弁当給食、生活班のリクエストメニューなど、利用者の皆さんの好みを反映したメニュー作りを心がけております。秋のお弁当給食は、中庭で会場設営して喫食するのですが、今年は設営後12:00前に無常の雨。突如の雨にもチームワークで対応。急遽場所を2階の作業場に変更となりましたが、いつもと違う雰囲気皆さん和気あいあいと喫食されていました。

リクエストメニューではピザに初挑戦！適温で提供するために一度に焼けるピザの枚数から逆算して提供量を決め、焼く前に生地をカットし、刻み食はカットした具をトッピングしました。終礼時、利用者さんが翌日のメニューを発表するのですが、メニューにより拍手や歓声此起彼伏の事があります。

利用者さんの「おいしい顔」を見るのを励みに日々の食事作りを行っています。







## 3施設合同

# もちつき



12月16日(土)に、今年で20回目を迎えた大阪ガス労働組合兵庫支部・姫路支部主催の3施設合同もちつきが行われました。週間天気予報では土曜日だけが「雨のち曇り」という予報が出ていましたが、雨が降る事も無く、例年に比べて暖かく実施する事が出来ました。今年は、きな粉、大根おろし、ぜんざい、カレーに加え、新たに豚汁が登場しました。豚汁は皆さんに好評で「おいしかった」というお言葉をたくさん頂きました。

大阪ガス労働組合様には来年も開催して頂けるという事なのでご厚意に甘え、今後とも、宜しくお願い致します。

## 新人職員の自己紹介

### グリーンホーム平成



杉岡 智穂 (すぎおか ちほ) 支援補助員(パート)

これからの抱負

入った当初、利用者の方の名前と顔も一致せず、すること全て初めてのことでしたが、最近少しずつ仕事に慣れてきたところです。

しかし、まだまだできないことが多く、職員の皆さんの姿を見ながら教えていただき、頑張ろうと思います!

### とこはの家



森田 由記 (もりた ゆき) 看護師

ココで働きたいと思った理由

今までの約30年間、様々な高度医療に携わって参りましたが、医療物品や医師のいない施設、又、御家族様と一緒に暮らすことの困難な方々に対して、一看護師に何が出来るだろうかと深く考えさせられ、それが又、魅力的でもありました。

今迄の現場からガラリと変わりましたが、自分への挑戦とモチベーションを持ち続けられる職場であると思います。

御利用者様の健康維持を目標に、看護展開をして参りたいと思う所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。



**報告** 法人内各事業所で実習等の受入れを行いました(平成29年9月~12月)

## □玉津むつみの家

武庫川女子大学・親和女子大学・青陽須磨支援学校・玉津中学校(トライやる)

## □ワークホーム緑友

頌栄短期大学・神戸特別支援学校・神戸親和女子大学・神戸女子大学・海星女子中学校・神戸市立小部中学校(トライやる)

## □グリーンホーム平成

武庫川女子大学・親和女子大学・神戸特別支援学校・兵庫県弁護士会(司法修習生)

## □新緑の家

夙川学院短期大学

## □神戸市立ワークセンターいわず

青陽東養護学校・兵庫県弁護士会(司法修習生)・神戸市立長峰中学校(トライやる)・神戸市立鷹匠中学校(トライやる)

## □なだ障害者地域生活支援センター

関西福祉科学大学

## □神戸市発達障害者東部相談窓口

神戸女子大学

**講師派遣**(平成29年9月~12月)

## なだ支援センター

## □兵庫県相談支援ネットワーク「相談支援従事者基礎研修」報告 平成29年8月31日~9月1日

なだ障害者地域生活支援センター山本主任相談員が、「相談支援従事者基礎研修」の運営スタッフを務めました。

## □兵庫県社会福祉事業団「相談支援従事者初任者研修」報告 平成29年10月5~6日

なだ障害者地域生活支援センター山本主任相談員が、相談支援従事者初任者研修のファシリテーターを務めました。

## ちゅうおう支援センター

## □NPO法人みちしるべ神戸「研修会」への講師派遣 平成29年12月12日

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 田中管理者が「家族と同居している今、利用できる居宅介護サービスは?」について講師を務めました。

## □兵庫県地域処遇ネットワーク連絡会への講師派遣 平成29年9月7日

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 丸尾主任相談員が「ケースの実践報告」を行いました。

## □神戸市立盲学校「福祉学習会」への講師派遣 平成29年11月9日

ちゅうおう障害者地域生活支援センター 三浦相談支援機能強化専門員が「障害者総合支援法に基づく福祉サービスの概要」について講師を務めました。





## 支援者芳名録

【平成29年7月～平成29年11月】

〔後援会扱い〕

賛助会員名(敬称略)

片岡 善信、道畑 武之、胡谷 一彦、藤本 摂子、坂口 民子、村山佳代子、藤原 民子、福永 昭三、柴山 藍子、大泉 恵子、小菊 成一、森山美枝子、松本富久身、前田 勝美、竹山 昭治、畠中 連、村川美和子、丸尾 宗茂、安川 里子、岡 早苗、関 英子、本田 茂、田中里依、光岡 研士、井領 俊治、田中伸布子、木下 伸子、寺本 迪彦、稲垣 順子、西尾 衛・久男  
会費合計 159,000円

寄付者名(敬称略)

(株)サンビルダー、岡早 苗、西尾 衛・久男

寄付金合計 19,000円

会費・寄付金合計 178,000円

〔法人寄付扱い〕

寄付団体名(敬称略)

一般財団法人「川西報公会」

寄付者名(敬称略)

石井 亨、細越ツヤ子、石黒 和夫、小菊 成一、有本 政一、藪野シズ子、木下トヨミ、酒井 昭夫、浦野 弘・美樹子、竹内 甲治、吉田 裕子、門脇ミツ子、中尾 弘三、松岡 真也、胡谷 一彦、大山 春江、門脇 重道、堀田 侑加、堤莊 祐、墨谷 悦子、瀧田 泰二、平川 豊子、池田 恭子、秋葉加代子、井領 俊治、西尾 衛・久男、浅田ルミ子、苗村治一郎  
寄付金合計 1,377,000円

〔法人〕

### 新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にて行っています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

ご寄付の方法

《お振込》

郵便振込(払込票は法人ホームページ内から印刷できます)

口座番号: 00940-5-0236641

加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャクイフクシカキョクシヨクフクカイ)

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

《現金でのご寄付》

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。

(受付時間 平日9:00～17:00)

※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただけます。

※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収書を添付して下さい。

<個人の場合>

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。

(「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額) - 5,000円 = 寄付金控除額

<法人の場合>

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。

《(期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 / 1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100)》

ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7

TEL: (078)913-1277 FAX: (078)913-1137

メール: otoiwase@shinryoku.or.jp

〔後援会〕

### 賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人 新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額540万円の財政支援をしています。

また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。

さて、法人では、平成26年11月に、平成27年度から3年から5年で達成すべき中期計画を定めました。中でも、保護者・利用者の高齢化に伴い、当面の課題として短期入所施設の設置要望が高まっており、しあわせの村内に、この短期入所施設を実現すべく計画を進めています。新たに、施設の建設となりますと、更に多額の資金が必要となり、資金集めに取り組みかねばなりません。

そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いただきますよう、お願い申し上げます。

🌿 年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

🌿 振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979

🌿 加入者名: 「新緑福祉会 後援会」

🌿 新緑福祉会のHP(<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

### 編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第5号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。今後も、多くのご意見を拝聴しながら、さらに良いものに育ててまいります。併せて、スマートフォン対応にもなっていますホームページもご覧ください。

現在、えみのき(咲の樹)開設事業の進捗は、入居説明会と応募者全員の面談を終え、法人利用者以外の方に2日間の実習をお願いしているところです。また、建設工事では、3棟の上棟も終え、順次内装工事に入っています。関係の皆様には、引き続きご不便をおかけしますが、何卒、ご協力をお願いいたします。

後援会の皆様には、「しあわせの村まつり」に続き「第28回こうべ福祉・健康フェア」での出店をしていただき、ありがとうございました。3月のリサイクルバザーにつきましても、法人組織が一体となって、協力いたしますので、よろしく願います。

お問い合わせ先

新緑福祉会本部 事務局内 新緑福祉会後援会

〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137

<https://www.shinryoku.or.jp>